

認知症患者の血清H-FABPの有用性について

研究分担者：広島大学大学院生物圏科学研究科 堀内浩幸

表1. 27例の神経変性疾患・認知症患者

	患者数
PDD/DLB	8
AD	4
sCJD	9
CBD	2
LCCA	2
healthy subject	6

表2. 各疾患別の血清H-FABP濃度

	mean ± SD (pg/mL)
PDD/DLB	6084 ± 2034
AD	2270.8 ± 761
sCJD	2934.7 ± 1173
CBD	1319
LCCA	1702
healthy subject	1047 ± 627

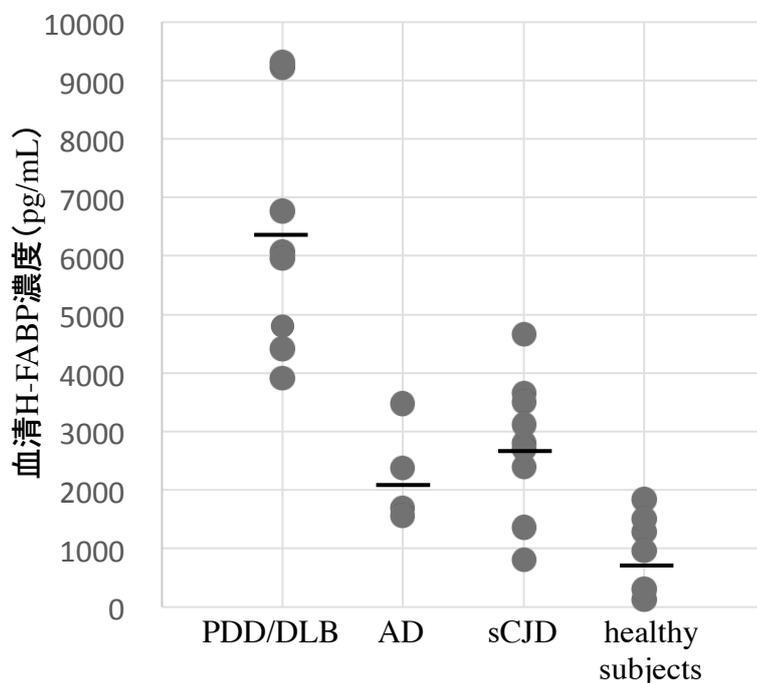


図1. 各種認知症患者の血清H-FABP濃度

解 説

表1. 本研究に使用した健常人血清6検体を含む25例の神経変性疾患・認知症患者の内訳。

図1. 各種認知症患者血清中のH-FABP濃度は、健常人血清中濃度と比較して、いずれの場合も高値を示した。特にPDD/DLBでは顕著であった。

表2. 調査した各疾患別の血清H-FABP濃度を平均値で比較したところ、CBDとLCCAでは低値であり、その他の認知症患者で高値となった。

本研究は佐藤克也・西田教行(長崎大学)との共同研究成果である。